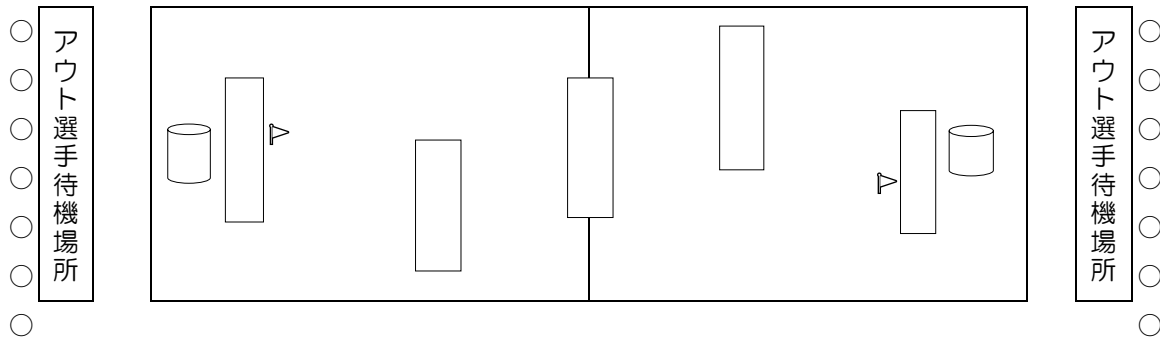


インドア雪合戦競技ルール（大野市ルール）

1. 使用するコート

- (1) 広さ ラインで区画された長方形（縦10m・横28mとする。）
- (2) 設置物 コート内の所定の位置にシェルター（壁）を自陣各2基、中央に1基、フラッグ（旗）1本をそれぞれ設置する。（図 1）
- シェルター ▷フラッグ ◯ 球入れかご



2. 装備

- ・球 直径約7cmのやわらかいボール
- ・ゼッケン チームごとに同じ色のものを着用
- ・くつ 会場が室内となるため上履きを用意すること

3. チーム編成

- ・1チーム5名～7名で編成する
- ・1チームのメンバー7名のうち5名が試合に出場し、選手の交代はセットごとにできる

4. 試合方法

(1) 試合進行

- ① チーム全員が試合開始前にコート中央に整列しあいさつをする
- ② 整列のとき、球はカゴに入れて自陣最後方のシェルターの後ろに置いておくこと※かごは動かさないこと
- ③ 各チームのキャプテンは各セット開始前に審判から1セット分の球を受取る
1セットに使用できる球は50球とする
- ④ 試合開始時は、それぞれ自陣最後方のシェルターの後ろに整列し、主審のホイッスルで開始する
- ⑤ 試合開始に際して、選手に欠員が生じた時は、欠員のままで試合することができる
ただし、その欠員は球が当りアウトと同じ扱いとする

(2) 試合ルール

- ① 試合中の球の受け渡し方法
 - ・一度に持てる球は2球とする
 - ・競技者が球入れかごから直接とるか、競技者同士で手渡す

② アウトの判定

- ・手を離れた球が、直接体または着衣に触れた競技者（キャッチ含む）
- ・サイドライン及びエンドラインを踏んだ競技者
- ・ゼッケン、ウェア等に球を隠し持った競技者
- ・コート内外を問わず落ちている球を拾った者
- ・片手で2球を同時に投げた競技者
- ・相手コートに入れる人数は3名までとする。それ以上入った場合はその場でアウトとする
- ・球を持っている人が当たったら球もアウトとする

③ アウトにならない場合

- ・球が他の競技者に当たった後、別の競技者に当たった場合
- ・球が地面でバウンドまたはシェルター等に当たった後、競技者に当たった場合
- ・味方が投げた球が当たった場合

（3）勝敗について

① 試合時間等について

- ・1試合＝1セット2分×3セットとする
- ・主審が競技の中断を宣告したときは、競技再開までに要した時間は、競技時間とはみなさない
※自分のコート内に一度戻り、再開することとする

② セットの勝敗

- ・時間内に相手チームのフラッグを抜くか、相手チームの出場選手が全員アウトになった時点で勝ちとする
- ・時間内に勝敗がつかなければ、コートに残っている人数の多いチームを勝ちとする
- ・残っている人数も同じ場合は、引き分けとする

③ 1試合の勝敗

- ・1試合3セット制とする
- ・2セットを先取した場合、3セット目は行わない
- ・3セット終了時に引き分けの場合は両チームのキャプテンによるじゃんけんで勝敗を決める

5. その他

審判の判定に対して、監督及び競技者並びにチーム関係者は異議の申し立てをすることができない
基本、球が当たった競技者は自己申告でコート外に出ることとする